

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和5年2月27日

公表: 令和5年3月1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		利用人数・状況により検討します。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・段差のある所にはスロープを設置している。 ・室内の段差部分に車いす等が移動しやすい様スロープがある。 ・清潔で安全な環境を整えている。 ・スロープを設置している。 	状況に応じて検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有し、理解を深め療育を行っている。 ・個別支援計画に基づき、実行・評価・改善は行われている。 	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		今回の結果を改善に生かしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		今回の結果を改善に生かしていきます。また全利用者に結果を配付するとともに、ホームページで公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価は実施していませんが今後検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修(ZOOM)を受ける機会がある。 ・職員レベルに合わせた参加はできている。 ・朝の打合せや活動の前後に行っている。 	外部研修等についても積極的に参加できる体制を作っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事、子供の特性を考えながら話し合い支援している。 ・必要に応じ話し合いを行っている。 ・発達段階や課題をもとに行っている。 	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・微細運動、粗大運動、季節の行事等を盛り込んでいる。 ・日々予定調整が行われている。 ・月ごとに活動計画を立てて行っている。 	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・利用児の人数により安全面に配慮し、シミュレーションを行ったうえで設定し、支援している。	長期休暇時等は縦割りグループを導入しながら、相互に成長できるような活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・登所時間に応じて個別活動を行いつつ、集団活動へのスムーズな流れを作っている。	適宜、個別・集団活動を組み合わせながら個々の支援内容に沿った支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・前日または前回の振り返りを踏まえ、子供の特性による細かい支援内容の違いを常に確認している。 ・朝の打合せを行っている。 ・毎朝必ず行っており、情報の共有を行う。 ・朝の打合せ等で行っている。	毎朝必ず行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・その都度、情報を共有し、更に記録に残している。 ・記録に書く際、不安な点等はうやむやにせず必ず相談する。 ・活動後や翌日の打合せの際に行っている。	急を要す時は実施していますが、基本的には翌朝に行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・記録する際はスタッフ間で確認しながら正確性に留意している。 ・記録がないと記憶だけで自分の支援の振り返りをしなければならぬため必要不可欠。	事業所内研修で写真や動画を基に検証しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・適宜行っている。	全職員の意見を取り入れています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・学校からの連絡等を保護者がコピーしてくださっている。	学校での問題行動等については保護者の了承のもと、直接学校と確認し対応することがあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%	・現在、医ケアの児童はいないが、連絡する用意はできている。	該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	・相談支援事業所などを含め必要に応じ努めている。	保護者の意向を踏まえながら連携を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		情報提供書を作成し報告しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75%	25%	・地域の児童との交流の機会が多少ある。 ・秋田市が管理する施設などに出向き活動することもある。	今般の状況を踏まえ、今年度も控えておりません。保護者の要望等も考慮しながら今後検討していきます。

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノート、送迎時、面談、電話などで行っている。 ・連絡ノート、送迎時等、保護者との会話を大事にし相談や助言を受け入れやすい関係を心掛けている。 ・送迎時、何気ない会話の中からも子どもの情報、家庭の状況を聞くよう心掛けている。 	今後も相談しやすい環境づくりに気を配っていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	・子育て等の困りごとについて、随時支援している。	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・随時行っている。 ・保護者からの相談または小さなSOSを見逃さず保護者の気持ちに寄り添うことを大切にしている。 ・送迎時または連絡帳に相談があれば、スタッフ間で共有し対応している。保護者の言葉、表情、様子等も気にかけている。 	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により控えている。 ・コロナ禍のため行うことが出来ない。 ・各家庭、保護者の生活スタイルに配慮している。 	保護者への負担を避けるため保護者会の結成は行っていません。必要に応じて保護者同士の連携が図れるように努めています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情BOXを準備している。また、会話の中から苦情はないかを読み取るようにしている。 ・日頃から綿密にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくよう心掛けている。 ・問題が発覚した時点ですぐ当事者から話を聞き、場合によっては保護者にご足労を願って対応している。 	相談しやすい環境づくりに気を配っています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回お便りを発行し、様子を知らせている。 ・毎月、予定や活動風景写真を載せ手紙を配付している。 	日々の療育内容などをわかりやすく伝えられるように努めています。
35	個人情報に十分注意している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・来客者がくる際は子供の名前がついている物は必ず伏せる。また、子どもの目に入るところに個人情報の記載しているものは置かない。 	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・送迎時子どもの様子を伝えながら話しやすい雰囲気作りを心掛け、連絡帳も活用する。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	75%	・コロナ禍により控えている。 ・各家庭、保護者の生活スタイルに配慮している。	今般の状況を踏まえ、今年度も控えております。保護者の要望等も考慮しながら今後検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・マニュアルを作成し、見える所に貼っている。 ・マニュアルを見やすい場所に貼ってある。	定期的にマニュアルの読み合わせを行っています。今後も継続していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・避難訓練を行い、予期せぬことが起きても臨機応変な対応をとれるようにしている。 ・今年度は水害と地震を想定した避難訓練をしている。	避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止研修の他、業務打合せの中で報道も含め内容を共有し、日々意識を高めるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		現在まで実施例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・アレルギーを持つ子供の状況を把握するため、対応一覧表を作成している。 ・台所の見える場所にアレルギーのある子ども、食べられないものを貼り出し、食事、おやつ提供には十分に気を付けている。	職員相互で確認できるように工夫しています。またマニュアルを作成し、万が一のときに備えています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・「ヒヤリ」「ハット」した出来事がいつしか重大な事故につながるような対策している。	事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。